

ゼン・アンド・ナウ／海原純子



■Disc1:①クワイエット・ナイト・オブ・クワイエット・スターズ(コルコヴァド) ②ビバップ・リヴズ(バップリシティ) ③ゼン・アンド・ナウ ④デヴィル・メイ・ケア ⑤ユー・マスト・ビリーヴ・イン・スプリング ⑥フルツ・フォー・デビイ ⑦ブルー・スカイズ ⑧ターン・アウト・ザ・スターズ ⑨ナウズ・ザ・タイム ⑩アイ・ゲット・アロング・ウイズ・アウト・ユー・ヴェリー・ウェルズ ⑪雨の日の天使 Disc2[「トーキング・トゥ・ユー」トークとピアノ演奏のコラボレーション]:①2020~2021 ②ジーン・リースについて ③Skiesは変化するこころ ④レジェンドに捧げる ⑤同じ春は来ないけれど ⑥ゼン・アンド・ナウ ⑦雨の日の天使  
■海原純子(vo) 若井優也(p) 楠井五月(b) 海野俊輔(①~④⑦⑨⑪:ds) Disc2:海原純子(talk) 若井優也(p) 2021年6~7月東京で録音  
■キングインターナショナル Nadja21 KKJ-9012-13 9月24日発売 4,500円(税込)

アイ・ニード・ア・チェンジ・トゥー／  
熊谷ヤスマサ

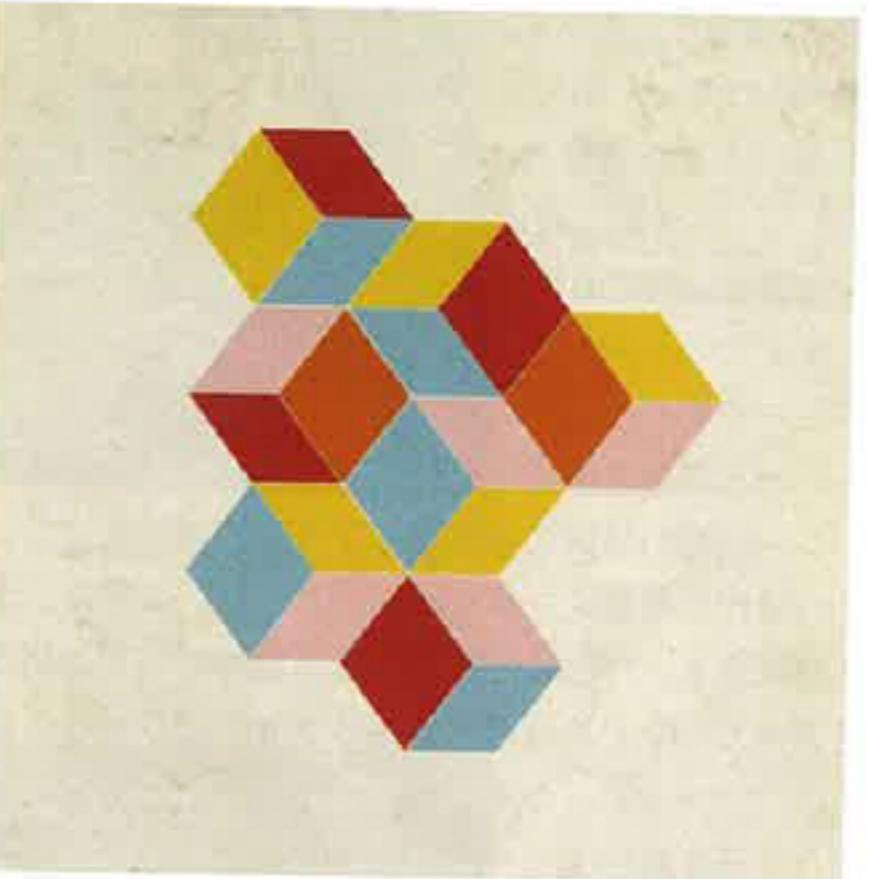


■①I.N.T.R.O ②アイ・ニード・ア・チェンジ・トゥー ③セントトマス ④HFCC ⑤マイドッグ ⑥ウェイク・アップ ⑦アフラ・デュオ ⑧カルボナーラ ⑨エクスター・ミネーター3 ⑩ピース・アウト ⑪ニュー・ライフ ⑫アイ・ワナ・ノウ ⑬K.A.B.U.K.I アソビ・セッション  
■熊谷ヤスマサ(p) 安田幸司(b) 海野俊輔(ds) ①:アイスダウン(programming,inst.) ⑦:アフラ(beat-box) ⑦:石崎忍(as) ⑩:タブゾンビ(tp) 石崎忍(as) 各加わる 東京で録音 2008年作品 ※CD+リマスタリング(ダウンロード)+カセットテープのボックスを予定  
■タクシー・アニキ Taxi.aniki ANTX-4901 10月13日発売 2,728円(税込)

本誌の連載でもお馴染みの心療内科医がシンガーとしての才能を存分に發揮したヴォーカル+トークの2枚組CD

本誌の連載でもお馴染みの海原は、玄妙な歌い手にして書き手、語り手でもある。心療内科医で医大の特任教授、エッセイスト等々と多才な顔を持つ彼女、歌い手としても長いブランクを経て、数年前から本格再稼働。昨今の厳しい環境下でも地道な研鑽を積み、その成果をこの作品に結実させた。一寸意表を突く2枚組で、Disc1は歌手としての力量を、2ではピアノをバックに、探査曲などに纏わるトークを収め、この双方でトータルな歌手像を…という意欲的な試み(ジャケ画も洒脱)。シンガー・サイドはタイトル曲などのオリジナルに、「この時期にこそ唄いたい」というお気に入りのボブ・ドローやミシェル・ルグラン、更に難曲のバップ・ボーカリーズなど、充実振りを窺わせる多彩な好唱を配す。良点を知る音楽監督役の若井やトリオの面々も、卓抜なフォローで寄り添い、彼女も「品のいいやさぐれボイス」(作家・桜木紫乃)で、澁渁としたキャット技も交え、情感たっぷり丁寧に唄いこなす。その存在感を印象付ける作品で、敬愛するジーン・リース(作詞)への想い等、親しきな語り掛けからも良く伝わる。(小西啓一)

イマジナリー・ヴィジョンズ／挾間美帆&デンマーク・ラジオ・ビッグバンド



19年からデンマーク・ラジオ・ビッグバンドの首席指揮者もつとめている挾間美帆の書き下ろし7曲を収録した注目作

ジャズ作曲家として国際的な活動をおこなっている挾間美帆は、2019年からデンマーク・ラジオ・ビッグバンド(DRBB)の首席指揮者もつとめている。そんな彼女がDRBBの為に書き下ろした作品は、すべての曲が豊かな“色”を感じさせる。“想像上の光景”というアルバム・タイトルどおり、7つの楽曲はいずれも絵画的であり、聴き手も自由に思いを寄せることができる美しいナンバーばかり。綾なす木管のハーモニーとともに、どこまでも情景が広がってゆくような幻想美に彩られた②、手の込んだアンサンブル・ラインがスリリングな③、詩情あふれる④⑦。随所に音楽的でウイットにとも遊び心を加えながらも、大きな流れをもった展開が素晴らしい。以前にDRBBの音楽監督をつとめていたボブ・ブルックマイヤーやジム・マクニーリーらの斬新なアレンジの伝統を受け継ぎながらも、バンドのサウンドは確実に未来を見据えている。このオーケストラの為の楽曲とはいえ、挾間の音楽の最良の表現者として複雑なサウンド・カラーを描き出してゆくDRBBの実力にも、大きな共感をおぼえた。

(岡崎正通)

■①アイ・セド・クール、ユー・セド…ホワット? ②ユア・シーナリー・ストーリー ③ミングル・マングル・グッディ・バッグ ④ホーム ⑤ミミズ・マーチ ⑥オン・ザット・サイド ⑦グリーン ■挾間美帆(comp,cond) デンマーク・ラジオ・ビッグバンド[ティーフ・フレルス,ロビン・ロンバウツ,トマス・ケルゴール,マッズ・ラ・クール,モーテン・ルンドグレン(tp,flh) ベーター・ダールグレン,ベッター・ハンギセル,ビンセント・ニルソン(tb) アネット・サックス(bt) ヤコブ・ムンク・モーテンセン(bt,b.tu) ベーター・フグルサング(as,ss,cl,fl) ニコライ・シュルツ(as,picc,fl,af) ハンス・ウルリック(ts,ss,cl) カール・マーティン・アルムクビスト(ts,ss,cl) アンダース・ゴールマン(bs,bs,fl) ヘンリク・ゲンデ(p) バー・ゲド(g) カスパー・バドスホルト(b) セレン・フロスト(ds)] 2021年3月8日~11日コペンハーゲンで録音  
■キングインターナショナル Edition Records KKJ-163 9月24日発売 3,000円(税込)

ムーヴ(move)/  
POLYPLUS(ポリプラス)



異色コラボ④では、河内音頭とラップを直結するような乗りの良さで、差別の脱構築に向かう思想をぶつけてくる

日本の「インストジャズ」の精鋭を結集したグループの新作。第1作の『debut』はいきなり本誌「Jazz Japan Award」でニュースター賞を受賞したが、あれから早くも3年。本作は待望の第2フルアルバムだ。テクスチャーがぐっと濃密になり、音のエッジが尖り、聴きごたえが増した。「フロアを躍らせる」が合言葉だが、これは俗な意味でダンサブルということではない。サウンドの全体に直接的な身体感覚が注入されており、ここが旧世代のフュージョンと異なるところだ。その分、反復を多用して単調になる恐れもあるが、全員恐るべき技巧を駆使して、乗りきっている。要は超重量級のリズムで、サックスもときにはリズム楽器のように振る舞う。少人数だが、オーケストラルな盛り上がりも見せる。今回の目玉は、寄席芸人「せやろがいおじさん」とのコラボ④だが、河内音頭とラップを直結するような乗りの良さで、差別の脱構築に向かう思想をぶつけてくる。かつてミンガスが実践した黒人の権利回復のメッセージ・ソングも、こうした祝祭性と政治性の結合だったのではないかと思わせられる。(中条省平)

■Disc1(CD):①クオーター ②リーガル ③マルプ ④アップデート ⑤レイン ⑥ホーム ⑦スター ⑧シルエット ⑨アップデート(インストゥルメンタル) Disc2(DVD):①リミッター(イントロダクション) ②クオーター ③レイン ④ppps~ウィ・ゴッタ・ラヴ~トーキョー・クラス ⑤シュガ~ホーム ⑥リーガル ⑦ホーム ⑧リミッターミリッタ(MV) ⑩ムンダス(MV) ⑪リーガル(MV) ⑫ボーナス・トラック(ミュージック・ヴィデオ集) ■POLYPLUS[メルテン(key) TSUUJI(sax) ゴッチ(g) ユキ(b)] せやろがいおじさん(④:speaker,lip-service) 株式会社yucca/金子智明(④:moving) 橋本孝太(①⑤⑥:g) 吉村和晃(⑥:g,sow) YOSHIAKI(①⑤⑥:ds) 松本誠治(②③④⑦⑨:ds) 横田哲哉(⑧:ds) 2019年2月21日(①⑤⑥)川崎で、20年7月16日(②③⑦),21年5月27日(④⑧⑨)各東京で録音  
■ディスクユニオン Playwright 初回盤(CD+DVD):PWTW-85 4,400円(税込) / 通常盤:PWT-85 2,800円(税込) 各9月1日発売